

2022年度香川短期大学 オープンキャンパス及び入試日程について

入試センター

開催日程・内容等についての詳細は、ホームページでお知らせします。LINE公式アカウントより友達申請をしていただきますと最新情報をお届けすることができます。

I オープンキャンパスについて

1 概要

- ・午前のみ参加、午後のみ参加、午前午後両方参加、WEB型に参加など多様な実施形態から選べます。
- ・参加申し込みはホームページからの事前予約となります。
- ・コロナ対策として参加人数を制限することがあります。
- ・模擬授業・体験コーナー
- ・総合型選抜プログラム
(総合型選抜出願予定者は受講が必要)
- ・保護者対象説明会
- ・相談コーナー(入試、就職)

2 日程

【全学年対象】

- ①5/28(土) ②6/19(日)
- ③7/10(日) ④7/24(日)
- ⑤8/27(土)

【卒業学年以外対象】

- ⑥ウエルカムキャンパス 12/10(土)
- ⑦2023春のオープンキャンパス 3/23(木)

II 入試について

- 総合型選抜前期(専願)
資格利用型選抜(専願)
.....10月上旬
- 指定校選抜I-II(専願)
.....10月下旬
- 学校推薦型選抜前期(併願)
指定校選抜III前期(特待生:専願)
.....11月中旬
- 総合型選抜後期(専願)
学校推薦型選抜前期(併願)
.....12月中旬
- 一般選抜前期(併願)
指定校選抜III後期(特待生:専願)
.....2月上旬
- 一般選抜後期(併願)
.....3月上旬

日程は決まり次第、ホームページや募集要項で公開いたします。

LINE 公式アカウント



キャリア支援センターから

この3月、卒業を迎えた短期大学生にとっては、入学と同時にコロナ禍が始まり、新しい環境の中で、今までに遭遇したことがない学校生活の連続でした。オンラインでの授業、長期の自宅生活。学内の行事が軒並み中止になったこともあり、面接試験で「学校生活でがんばったことは」の質問の答えに苦心しました。



学生の就職活動を通じて私たちスタッフが学べたことはたくさんあります。オンラインでの面接や面接練習では、限られた時間内で何ができるかを考えるあまり画一的な対応になりがちでしたが、対面では学生一人一人のペースに合わせて関わることや、就活には関係のない雑談、微妙な表情から内面のゆらぎなども感じることができ、実際に顔を合わせるからこそ得られる情報の大切さを痛感しました。そして学生が抱えている不安や葛藤を想像しながら、就職支援の方法を手探りしてきました。社会に出ることに対して抱えている不安は、皆同じです。また、できることよりもできないことに対して目を向けてしまうことで不安はさらに大きくなります。「新規大学卒」というチャンスは一生に一度だけしかなく、新しい環境への定着は受け入れる企業だけではなく本人を取り巻く環境にも責任があります。学生には「失敗を恐れるのではなく、できることを積み上げていく姿勢」を大切にと送り出し、今後は受け入れる社会の一員として関わり、応援していきたいと思っています。

附属図書館

「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」 提供開始!

10月1日から、香川短期大学附属図書館で「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」をご利用いただけるようになりました。

このサービスは、国立国会図書館でデジタル化した図書や雑誌(「国立国会図書館デジタルコレクション」)のうち、絶版などで現在手に入らないものについて、国立国会図書館の承認を受けた全国各地の公共図書館や大学図書館などで見られるようになるサービスです。香川県の図書館(公共・大学)43館のうち、このサービスを提供している図書館は、令和3年度現在、本学を入れても、まだ8館です。

本学では閲覧の他、複写も可能。新たな資料提供で、学習・研究への支援を高めています。



KATAN Clover Vol.11 編集後記

2年間にわたる新型コロナの影響で私たちの日常は大きく変化し、社会生活のスタイルも新しい様式として定着しています。私たちはコロナによって学んだ多くのことを未来に繋げるとともに、コロナによって大きく変貌する大学での生活や学ぶ環境を前向きに捉えて意義あるものにしていかねばなりません。

このたび、KATAN Clover Vol.11を発行するにあたり、新たなロゴのデザインと香川短期大学広報誌としての取り組みにチャレンジしました。今後も広報誌としてのKATAN Cloverをととして本学の様々な活動を知っていただければ幸いです。

表紙ロゴデザイン:経営情報科デザイン・アートコース 地演愛さん(2022年3月卒業)

〒769-0201 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁10番地
Tel.0877-49-5500(代) Fax.0877-49-5252

<https://www.kjc.ac.jp>

◎編集・発行/香川短期大学 地域交流センター ◎デザイン・印刷/セキ株式会社

香川短大 検索

発行日/令和4年3月16日



香川短期大学
KAGAWA JUNIOR COLLEGE

KATAN Clover

vol.
11
2022 Spring

香川短期大学広報誌



❀ 特集 ❀

コロナ禍だからこそ 香川短期大学が取り組んだこと 先進的デジタル化推進

CONTENTS

- 01 学長メッセージ
- 02 特集
- 03 KATAN Topix
- 04 KATAN News
- 06 KATAN Pick up
- 07 KATAN Information



香川短期大学
KAGAWA JUNIOR COLLEGE



学長メッセージ

KATAN Cloverリニューアル

香川短期大学 学長 加野 芳正

KATAN Cloverは、今回で通算11号となります。これまで、地域交流センターの活動を主な内容として年1回発行しておりましたが、香川短期大学広報誌としてリニューアルし、年2回刊行することになりました。大学の地域交流に限定せず、香川短期大学の活動の様子を幅広く伝えてまいります。

香川短期大学は「学生が主人公の大学」「地域に生き、地域を支える」を基本ビジョンとしており、このビジョンに基づいて大学を運営しています。その大学の活動内容をお伝えし、また、地域の人々に大学を利活用してもらうことが、短期大学としての価値を高めることに通じます。本学は地域の中核となる大学を目指して様々な取り組みを行い、三つの側面から地域社会の発展に貢献してきたと認識しています。

第1に、人材養成機関としての役割です。栄養士、保育士、介護福祉士といった地域にとって不可欠な分野に従事する者を育成し、また、地域産業の発展に資する人材を育成してきました。少子高齢化や若者の県外流出で、地域を支える若者は不足しています。若者を地域から迎え入れ、地域に返す、このような気持ちを大切に大学を運営しています。

第2に、研究機関としての役割です。短期大学と専門学校は短期高等教育機関として位置づいていますが、前者は研究機能を期待されているのに対して、後者は教育機関に特化しているという点で違いがあります。現代社会は知識基盤社会とも形容され、知の創造が社会の発展に大きく関連してきます。短期大学でするので貢献できる研究分野は限られますが、研究を通してDX社会の実現、カーボンニュートラル社会の実現、SDGsの達成等、ささやかではあっても貢献していきます。

第3に、地域の文化や歴史を継承し、発展させていくという役割があります。本学の多くの先生が地域に密着した、地域貢献の取り組みをされています。地方創生が重視される今日、地域の魅力発信につながる活動を、より一層推進していきたいと考えています。

大学の地域貢献は、大学の意思だけで一方的に進められるものではなく、地域社会との相互交流が基本であり、地域の支えがあって初めて成り立つものです。この機会に、地域の皆様に対してより一層のご支援をお願いしたいと思います。

なお、本学により親しみを持っていただくために、香川短期大学ロゴマークを作成することにしました。ホームページ等を利用して広く募集しますので、関心のある方はぜひご応募ください。

今後とも香川短期大学へのご支援をよろしくお願いします。



特集

教育DXの推進により学生と教職員に、「新時代の学びを支える」より快適な教育環境を届けられるよう先進的な取り組みをしています。

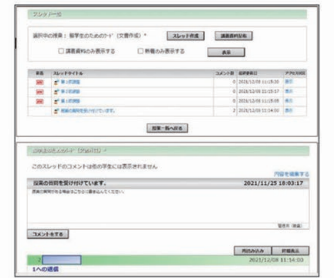
コロナ禍だからこそ、 香川短期大学が取り組んだこと

新型コロナウイルス感染症への対応として始めた取り組みでは、予期せぬ効果があったり、学生・保護者・教職員等から好評を得たり、新型コロナウイルス感染症の収束後も継続的に実施できることの発見がありました。

大学学務システムの再構築により利便性向上

本学では、遠隔授業における学生・教員間のコミュニケーションツールとして、既存の学内ポータルサイト(学務システム)をカスタマイズして「授業掲示板」機能を追加しました。授業掲示板では、科目ごとに掲示板(スレッド)を作成することができ、履修学生への連絡事項や講義資料の配布、レポート課題の提出・受取などができます。

質問受付用のスレッドを作成しておけば、学生からの質問や返答もスムーズに行えます。この機能は遠隔授業に限らず、これまで学生が授業時にしか行えなかった非常勤講師とのコミュニケーションツールとして、新型コロナ収束後も継続して活用していきます。



web上でレポートの送受信や
質問の応答ができる授業掲示板

オープンキャンパスへの取り組み

コロナ禍での学生募集活動については、前年度の経験を踏まえて改善を加えました。オープンキャンパスは、高校生を中心とした本学志望者にとって自分の目で学習内容や学習環境を確認することができる重要な機会です。本学においては、参加者の安全安心を最優先に考えた感染防止対策を講じました。不織布製マスク着用の義務、手指消毒、体温測定、会場消毒などはもちろんのこと、密を避けるため参加人数に上限を設けてホームページからの事前予約制としました。その結果、オープンキャンパスの参加者は前年比1.3倍に増加しました。中でも子ども学科第Ⅲ部は1.8倍、食物栄養専攻は1.7倍となるなど、関心の高さが表れていました。

また、対面式のオープンキャンパスに不安を感じる高校生や保護者のためにWeb型のオープンキャンパスもほぼ毎回実施しました。Web型への参加者は全体の15%程度でしたが、特に県外の高校生にとっては参加しやすい実施形態であり、結果として前年度よりも県外からの受験者が増加しました。

さらに、新たな取組として卒業学年以外を対象としたウエルカムキャンパスを12月に実施しました。より早い時期から本学に関心をもってもらうための試験的な実施でしたが、確かな手応えがありましたので今後も継続したいと考えています。

コロナ禍だからこそ、より柔軟で積極的な学生募集に取り組んでまいります。

先進的デジタル化推進

スマホ学生証、スマホ出欠管理システム導入

本学では四国初のスマートフォンアプリの学生証を導入しています。このアプリは、学生証としての機能だけでなく、大学側からの情報発信や連絡、学生からの返信ができるなど、コミュニケーションツールとしても利用しています。また、災害発生時には、大学から安否確認のメールが一斉送信され、返信結果が自動で集計されるので、素早い情報の集約が可能となっています。

コロナ禍でのデジタル化が進展する社会において、本学では、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を促進するため、デジタル等を活用した教育環境の整備に今後も活発に取り組んでまいります。

このたび、さらなる取り組みの一つとして、新しい出席管理システムを導入しました。

これまでは、授業開始時の点呼やレポート提出などで出席状況を把握し、手書きの帳票で管理していました。新しい出席管理システムでは、学生が学生証アプリから発信した出席情報を、先生のビーコン端末が受信することで、ビーコン端末の電波が届く範囲(教室内)に履修学生がいることを自動で確認してリアルタイムで出席登録を行うシステムです。

学生と教職員はいつでも出欠情報をWebから確認できます。



学生証がカード型から拡張性のある
スマホアプリへ



学生はスマホで出席登録
大学はPCで管理

地域社会との連携について

高松市と包括協定書締結

三豊市・丸亀商工会議所とも包括的連携協定締結

本学では、地域の活性化に貢献することを目的とした地方自治体等との包括連携に関する協定の締結を進めております。

香川短期大学と高松市は8月3日、地域課題の解決に向けて連携・協力に関する包括協定書を締結しました。この協定は、高松市及び香川短期大学が相互の連携・協力により、学術交流及び技術交流並びに人的交流を通じて、個性豊かな地域社会の形成及び地域課題の解決を図り、学術・文化及び科学技術の進展並びに地域の振興及び発展に寄与することが目的です。

また、6月24日に三豊市と、11月8日に丸亀商工会議所と包括的連携・協力に関する協定書を締結し、今後も、これまで以上に、幅広い分野で自治体等との連携を図ってまいります。



高松市との包括協定書締結式（大西市長と加野学長）



丸亀商工会議所との協定書締結式（左より藤井専務理事、高濱会頭、加野学長、齋藤副学長、織田事務局長、高島総務部長）

食物栄養専攻の食育ゼミが、 農林水産省主催「第5回食育活動表彰」において ボランティア部門『消費・安全局長賞』を受賞

食育ゼミでは平成23年度より、10年間継続して、幼児・小学生を対象とする食育活動実践を行ってきました。特に学生による企画提案活動支援事業である公益財団法人明治百年記念香川県青少年基金の助成を受け「生活文化にふれよう」と題し、毎年11月に小学生の調理実習を中心とした活動を実施するとともに、年間を通じ地域の保育園・幼稚園の他、子ども食堂での食育活動を実施してきました。

このような取り組みが認められ、この度ボランティア部門大学等の部の受賞となりました。

また今年度の活動の様子は、(株)ヤクルト本社発行の健康情報誌「ヘルシスト」及び令和4年6月公表の「令和3年度食育白書」（農林水産省）にも掲載されます。



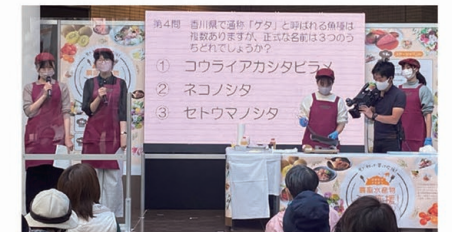
食育ゼミ学内表彰式



ゼミ学生による小学生への食育教室

かがわのイチオシ農畜水産物 応援キャンペーン参加

11月5日、「かがわのイチオシ農畜水産物応援キャンペーン」（丸亀町グリーンけやき広場）のオープニングイベント「家庭でできる！旬のおさかな調理実演会」で食物栄養専攻の学生が海鮮料理店店主による、旬の地魚を用いた料理の調理実演の補助を行いました。タコのサラダ、ゲタ（シタピラメ）のムニエル、オリーブハマチのニンニクステーキを店主とともに調理し、調理の合い間には県水産課と学生が考案した魚に関する3択クイズを出題し、会場を盛り上げることができました。セレモニーは浜田県知事の挨拶に始まり、香川県産花ブーケの来場者プレゼントやマルシェの出展があり、広場は大いに賑わっていました。



学生によるプレゼン風景



県産ハマチキャラクター「はまみくん」と

地元農産物を活用した 食品レシピの開発

令和3年度産学官連携事業「地元農産物を活用した食品レシピの開発」に係る優秀レシピ選考会が12月4日香川短期大学食物栄養棟で行われました。この取り組みは学生が考えた食品レシピにより地元農産物のPRや食品ロス削減、地産地消の促進に加え、コロナ禍におけるストレス軽減や健康問題といった社会的課題の解決を目指し、また、家庭でも楽しめることを目的としています。また同事業の一環として、今回の食品レシピで作ったサンプル品を商店街等にて配布することで、商店街のPRや店舗の認知度向上を図ります。

食物栄養専攻2年生7名と松永先生が取り組み、審査の結果、最優秀賞に食物栄養専攻2年谷本七海さんの「キウイ漬け」、優秀賞に同年後藤遥夏さんの「野菜のふりかけ」が選ばれ、JA香川県より提供された規格外の農産物で製造したサンプルを12月19日の丸亀商工会議所の歳末大感謝祭会場で来場者に配布しました。



審査員による試食会



優秀レシピ選考会表彰式

福祉の目線で環状交差点の 安全性を調査、提言

生活介護福祉専攻の学生と宇多津町社会福祉協議会、宇多津町身体障害者協会が『宇多津町を障害者にとって住みやすくする活動』として、香川県内で唯一の環状交差点（ラウンドアバウト）における高齢者や障がい者を含む歩行者の安全性について検証する活動を行いました。

地域住民と行政の協力で実施し、その結果、信号機がないためドライバーにとっては便利な交差点であるが、音を頼りに歩行している視覚障がい者には危険といった意見や、デザイン的に配置されたものがかえって介助者の妨げになりサポートするスペースが確保しにくいこと、白杖がひっかかる場所があるなど、通常の交差点では気づかない疑問や指摘がありました。12月24日に宇多津町長に報告書の提出と提言を行いました。

参加した学生は、障がい者有する当事者の声を聴くことの重要性や地域住民の方と一緒に活動したことで色々な角度から物ごとを捉える視点の必要性を学ぶことができたと話していました。今回の体験を実際の介護場面で生かしてほしいと思います。



環状交差点（浜一番丁）での検証活動

香川短期大学ダンス部・子ども学科ダンスゼミ発表会

ダンス部・子ども学科ダンスゼミでは、10月23日に大学祭に代わる発表会を行いました。日頃の活動を発表したいという学生らの熱い思いで実現できた発表会です。発表会では学生21名が一丸となり、大学との連絡調整、衣装・チケット・DM・プログラム・SNSの作成、音響、照明、アナウンス、お客様の誘導まですべてを行いました。当日は、OGにも手伝っていただき大盛況の中、無事終演！また一つ学生らは成長することができました。応援、ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

定期公演に替えて2月23日に学内で無観客公演し、DVD録画・配信による活動の総まとめをしました。今だからこそできる活動を行い、来年度へとつなげていきます。

香川短大ダンス
公式LINE



学内発表会(講堂ホール)

生きた「ものづくり」プロジェクト

冬の気配を感じ始めてきた11月5日に、地域の子ども達を招いて芋掘りを行いました。子ども学科心理学ゼミでは、4月から生きた「ものづくり」プロジェクトとしてサツマイモ等を育てています。幼稚園や保育園では園庭などで植物を育てたり生物を飼育したり、自然と触れ合う機会を増やし、子どもたちの心の発達に必要な活動を実践しています。ゼミ生の「実際に自分達でもやってみよう！」という声から取り組みを始め、最後の収穫では、地域の子どもたちと一緒に収穫を楽しみました。幼児や小学生も夢中になってサツマイモを掘る姿、そして自分で収穫したサツマイモをどんなに重くても抱える姿を見ると、やはりこうした体験は子どもや学生にとって大切な活動だと感じました。



学生と地域の子どもによる収穫活動(学内農場)

みとよMaaSプロジェクト キックオフミーティング実施

みとよMaaSプロジェクトに関わるゼミ学生(7名)が6月15日、三豊市交通政策課を訪問し、本年度の連携活動について打ち合わせを行いました。市側より昨年度から行われている短大連携プロジェクト以外の企業・団体・高等教育機関との連携プロジェクトが平行稼働していることの説明がありました。次に、三豊市の近況情報や観光地化の経緯などの説明を受け、さらに直近のゲストハウスや移住者・若手経営者による地域活性について知ることができました。山下市長と学生が直接対話をしていく中で、市との連携の具体的活動についても学生側から報告することができました。

この日は三豊市内の企業がカスタムモデルとして製作したEV車の敷地内試乗も体験し、『住民の住みよいまちづくりへ寄与する為に学生がどのように協力していけるか』を改めて考える良い機会となりました。

みとよMaaS
プロジェクト
ウェブサイト



市内企業がカスタムしたEV車試乗体験



三豊市とのキックオフミーティング

入賞に沸くデザイン・アートコース

かがわ文化芸術祭2021ポスター原画募集で、デザイン・アートコースの亀井萌花さん(2年)が最優秀賞(ポスターデザイン採用)を、島ひなのさん(2年)が優秀賞を受賞しました。最優秀賞受賞は、2014年の植松友梨さん、2015年の川本知子さん、2016年の稲井梨穂さん、2017年の岡内優里さんに次ぐ5人目で、4年ぶりの受賞です。2021年12月24日まで、県立ミュージアムにて最優秀賞をはじめ、入賞・入選者の作品34点による原画展が開催されました。

さらに、ピンクリボンかがわ協議会が主催するポスターデザインコンクールで、デザイン・アートコースの地濱愛さん(2年)が最優秀賞(ポスターデザイン採用)を、石井希和さん(2年)と光家朋花さん(1年)がピンクリボン賞を受賞しました。県内外で乳がん啓発のメッセージを発信すべく広く掲示されました。



かがわ文化芸術祭
ポスター原画最優秀賞
(亀井萌花さん)

ピンクリボン2021
ポスターデザインコンテスト最優秀賞
(地濱愛さん)

KATAN Pick up

▶▶ 県内のコンテストに入賞した学生さんをご紹介します。
受賞、おめでとうございます。

経営情報科

「ピンクリボン 2021 ポスターデザインコンテスト」(ピンクリボンかがわ県協議会)

- 🏆 最優秀賞：2年 地濱 愛さん 作品名「ははのひおめでとう」
- 🏆 ピンクリボン賞 1年 光家 朋花さん 作品名「貴女も一緒に 乳がん検診へ!!」
- 🏆 ピンクリボン賞 2年 石井 希和さん 作品名「人生のテンポ」

かがわ文化芸術祭 2021 ポスター原画募集受賞者

((公財) 置県百年記念香川県文化芸術振興財団)

- 🏆 最優秀賞(ポスターデザイン採用) 2年 亀井 萌花さん
- 🏆 優秀賞 2年 島 ひなのさん

WebxIoT メイカーズチャレンジ PLUS in 香川にて最優秀賞受賞

- 🏆 情報ビジネスコース 1年 岩部 陽さん 1年 秋山 琳さん

長期履修留学生

「KAGAWA INTERNATIONAL ART COMPETITION 2021

～かがわではたらく・まなぶ外国人のためのアート作品展～」

- 🏆 【平面部門】優秀賞：SPRING DAY (ローティトゥイ ヒエンさん)

令和3年度青少年育成香川県民会議青少年善行者表彰

- 🏆 香川短期大学ボランティア同好会



ピンクリボン 2021 ポスターデザインコンテスト



かがわ文化芸術祭2021ポスター原画募集



WebxIoT メイカーズチャレンジ PLUS in 香川



SPRING DAY(ローティトゥイ ヒエンさん)

▶▶ 令和3年度アセンブリー開催

令和3年度アセンブリーが7月16日に開催されました。実行委員長の山地梨那さん(子ども学科第Ⅲ部3年)を中心に事前アンケート(234名分)などの準備を行い、参加学生59名(対面40名・リモート19名)、参加教職員20名(対面18名・リモート2名)が設備、授業、学生生活などの分野別に活発に意見交換をしました。

最後に齋藤副学長が学生の意見に対して「大学としてできることとできないことはあるが、できることは学生の皆さんのために早く対応していきたい。こうした機会が大学の発展につながるので、出してくれた意見は未来につなげていきたい」と総括し、実行委員長から「大学側の考えを聞けてよかった。こうした意見交換の積み重ねがよい大学づくりにつながっていけばよいと思う」とのコメントで閉幕しました。



アセンブリーでの丹下学生支援部長による応答